

2023 年度（第 45 期）

# 事業報告

自：2023 年（令和 5 年）4 月 1 日  
至：2024 年（令和 6 年）3 月 31 日



〒621-0027

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷 18-2

公益財団法人 関西盲導犬協会

会長 平芳 一法

**公益財団法人 関西盲導犬協会 2023 年度事業報告書**  
(2023 年 4 月 1 日-2024 年 3 月 31 日)

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬貸与計画

① 貸与頭数

2023 年度の盲導犬の貸与頭数・貸与者は以下のとおり。

	番号	代替新規	性別・年齢	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日
1	7453	新規	男 (60 代)	福井県	ジャビス	LR	♂	4 月 20 日
2	7454	代替	女 (60 代)	京都府	デジー	LR	♀	10 月 4 日
3	7455	新規	女 (60 代)	大阪府	ティファニー	F1	♀	11 月 10 日
4	7456	代替	女 (60 代)	京都府	クリア	LR	♀	11 月 15 日
5	7457	代替	男 (50 代)	滋賀県	エヴァン	LR	♂	12 月 31 日
6	7458	新規	男 (60 代)	広島県	レイ	LR	♂	3 月 2 日
7	7459	代替	男 (50 代)	兵庫県	シャロン	LR	♀	3 月 26 日

(犬種:LR:ラブラドル、F1:ラブ×ゴールデン)

② 盲導犬実働数・ユーザー人数

2023 年度末の盲導犬実働数・ユーザー数は以下のとおり。

夫婦で 1 頭の盲導犬を使用する「タンデム」ユニットが現在 2 組。( ) の数字は前年度からの増減数

	盲導犬実働数(頭)	盲導犬ユーザー数(人)
2023 年度	59(-4)	61(-5)

③ 新規盲導犬ユーザー獲得の取り組み(新規希望者への働きかけ)

体験歩行会等の「イベント」を通しての新規希望者の開拓を行うとともに、個別の問い合わせ者には積極的に体験歩行を実施した。その結果、面接などその後の手続きを経て 6 名の新規希望者を獲得できた。

(2) 盲導犬ユーザーへのケア(フォローアップ)

① フォローアップの実施

フォローアップ体制の再編作業を継続しつつ、盲導犬ユーザーへの下記フォローアップを実施した。訪問によるフォローアップと電話・メールによる状況確認および相談フォローアップは以下のとおり。

1. 訪問フォローアップ		107 件(前年度 164 件)
内訳	定期	38 件
	共同訓練直後	7 件
	ファミリアリゼーション	15 件
	犬の健康管理(高齢犬の健康診断を含む)	10 件
	犬の問題行動	16 件
	その他	21 件
2. 電話(メール)フォローアップ		109 件

② 盲導犬医療費の助成

盲導犬ユーザーに対して、盲導犬飼養に係る予防的医療費(狂犬病および混合ワクチン)およびフィラリア予防薬の購入費助成を継続した。

③ 高齢盲導犬へのケア

引退を間近に控えた 9 歳齢ならびに 10 歳齢の盲導犬に対する健康診断を当協会負担で継続実施し、健康状態を把握した。

### (3) 犬の育成・ケア

#### ①繁殖犬・パピー・訓練犬の状況

- ・ 出産頭数: 48 頭(うち 9 頭を他協会に譲渡)
- ・ 繁殖犬数: 20 頭(オス 7 頭/メス 13 頭 2024 年 3 月末現在)
- ・ パピーウォーキング(巡回指導 198 回・パピースクール 41 回)
- ・ 訓練犬: のべ 60 頭(前年度からの在籍犬 17 頭、2023 年度の新入犬 43 頭)

#### ②国内外の協力先との連携

- ・ AGBN (Asian Guide Dogs Breeding Network) の総会ならびに実務会議に出席した。  
(2023 年 6 月・10 月・11 月)
- ・ カナダ・バンクーバーで開催された IGD (International Guide Dog Federation) のセミナーに職員 2 名を派遣した。(2023 年 4 月)

#### ③凍結精液の利用

凍結精液による人工授精を 2 回試み、それぞれ受胎を確認した。

#### ④リタイア犬への医療費補助

混合ワクチン接種費用を除いた医療費、療法食、葬儀費への助成を行った。

#### ⑤獣医師会との連携

公益社団法人京都市獣医師会による協会所有犬に対する定期健診・検査を継続した。(年 12 回)

### (4) 職員の採用その他

#### ①訓練士候補として正規職員 1 名を採用した。

#### ②訓練部門の体制

育成・訓練・テラス各部門のリーダーによる合議体制を継続するとともに、歩行指導員 1 名を訓練部長に任命した。

### (5) 訓練部職員のスキルアップ

#### ①認定 NPO 法人全国盲導犬施設連合会主催の研修会

同連合会が主催する以下のセミナーに、各テーマに関わる職員が参加した。

- ・ 相互研修事業「歩行補助アプリ」(2023 年 6 月・オンライン)
- ・ 相互研修事業「パピープログラム」(2023 年 7 月・中部盲導犬協会)
- ・ 相互研修事業「繁殖業務」(2023 年 7 月・オンライン)
- ・ 相互研修事業「盲導犬訓練」(2023 年 8 月・日本盲導犬協会)
- ・ 相互研修事業「ボランティア対応」(2023 年 8 月・オンライン)
- ・ 相互研修事業「犬舎管理」(2023 年 12 月・兵庫盲導犬協会)

#### ②訓練担当者の資格取得プログラム

盲導犬訓練士 1 名に対し、歩行指導員資格取得プログラムを継続実施した。

#### ③国内外育成施設への職員派遣

- ・ 訓練担当者 1 名を社会福祉法人日本ライトハウス養成部が主催する「視覚障害リハビリテーション基礎講習」を受講させた。(2023 年 4 月～8 月)
- ・ 訓練・歩行指導の見学・意見交換を目的に、歩行指導員 2 名・訓練担当者 1 名を社会福祉法人日本ライトハウス盲導犬訓練所に派遣した。(2023 年 7 月)

#### ④社会福祉法人兵庫盲導犬協会の訓練研修生 1 名を受け入れた。

### (6) 盲導犬貸与委員会

公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、外部委員を含めた「盲導犬貸与委員会」の開催を継続した。(中止とした 3 回を除く毎月 1 回、計 9 回開催)

### (7) フレンドッグ事業

#### ①新型コロナのため休止していた高齢者ならびに障がい者施設でのフレンドッグ活動の再開に向け、新たなルール作りを行った。

- ②「亀岡市盲導犬ふれあい事業」として、亀岡市の委託による亀岡市立保育所・こども園等9施設に対し、各1回ずつ、フレンドドッグ活動を行った。

#### (8) 調査研究

京都大学大学院文学研究科と「木香テラスの有用性」に関する共同研究を継続した。

### 1-2. 相談事業

#### (1) 苦情ならびに相談に関する対応

2023年度に受けた苦情ならびに相談の状況は、総数16件であった。

##### ①入店ならびに利用拒否等の相談:8件

- ・飲食店:2件(解決済)
- ・観光施設:2件(解決済)
- ・交通機関:1件(解決済)
- ・高齢者施設:1件(解決済)
- ・医療機関:1件(継続中)
- ・宗教施設:1件(継続中)

##### ②ユーザーの盲導犬への不適切な扱いに関する相談:8件

- ・盲導犬への不適切な扱いやケアの不足について等:6件(内3件はフォローアップを実施し状況を確認、対応した。他3件のうち2件は他協会ユーザー、1件は該当者判明できず行政へ報告)
- ・夏場の移動:2件(対応済)

#### (2) 他機関との連携

盲導犬ユーザーの盲導犬の扱いに関する苦情について、全国盲導犬施設連合会と連携し対応した。

### 1-3. 啓発普及活動

#### (1) 啓発普及活動

##### ①視覚障がい者を対象とした啓発活動

以下の団体からの依頼を受けて、体験歩行会を実施した他、個人からの依頼には随時対応した。

- ・京都府視覚障害者協会南丹京丹波支部(2023年6月8日)
- ・高知県身体障害者連合会「ルミエールフェスタ2023」(2023年9月18日)
- ・綾部市視覚障害者協会(2023年9月19日)
- ・三田市視覚障害者福祉協会「眼の日の集い」(2023年10月1日)
- ・兵庫県視覚障害者福祉協会「兵庫県視覚障害者福祉まつり」(2023年12月1日)
- ・京都ライトハウス鳥居寮(2024年3月13日)

##### ②定例見学会の実施ならびに団体等の見学受入れ

- ・当協会での見学会:9回(参加者321名)
- ・YouTubeによるライブ配信:1回
- ・団体見学の受入れ:26件551名

##### ③ユーザー主体の啓発普及活動の実施

学校・事業所等からの講演依頼に対しては、積極的に講師としてユーザーに依頼した。詳細は以下のとおり。

※[ ]内は、ユーザーの講演件数

- ・学校での講演活動:34[28]件
- ・イベントならびに社会奉仕団体等の例会、企業研修等での講演:32[11]件

##### ④機関紙「ハーネス通信」の発行

例年通り、4・7・10・1月の計4回、それぞれ墨字版・点字版・CD版を発行した。

##### ⑤ホームページや各種ソーシャルネットワーク(SNS)を活用した情報発信

ホームページならびに各種SNSでの頻繁な情報発信に努めた結果、SNSのフォロワー数は3万人を超えた。

## ⑥行政ならびに他機関との連携

- ・視覚相談会:6回(京都府家庭支援総合センター主催/向日市・京丹波市・京丹波町・八幡市・精華町・宮津市)
- ・JR西日本から駅設備変更等の情報提供を受け、駅を利用する盲導犬ユーザーへの連絡を行った。

## (2)協会主催・共催イベント

### ①協会主催イベント

- ・「盲導犬Love's フェスタ 2023」をYouTubeのライブ配信で開催した。(2023年4月29日)
- ・「ボランティアズデー」を亀岡運動公園で開催した。(2023年11月3日)

### ②京都府の視覚障害者団体との共催イベント

- 「白杖安全デー(YouTube動画の配信)」、「あい・らぶ・ふえあ(2024年1月27、28日 イオンモール京都)」の共催イベントに職員を派遣した。

## 2. 管理部門

### (1)収入と支出に関する取り組み

- ①各種 SNS・街頭募金活動等を通し、広く支援・寄付を呼びかけたほか、オリジナルカレンダー、小冊子を作成し配布するなど、支援者獲得のための働きかけを継続した。
- ②計画的な街頭募金活動を実施し募金収入の増加を図った。
- ③盲導犬ユーザーへの理解を深めることを目的としたクラウドファンディングを実施した。  
(支援金計9,211,000円)
- ④亀岡市の「ふるさと納税」を活用した支援を継続した。
- ⑤現状報告(2024年3月末現在)。

#### a. 賛助会員

- 総賛助会員数 1,374件(前年度から52件減)
- ・正会員 1,096件(前年度から52件減)
- ・後援会員 36件(前年度から2件減)
- ・法人会員 34件(前年度から3件増)
- ・マンスリー会員 205件(前年度から2件減)
- ・青少年会員 3件(前年度から1件増)

#### b. 募金箱

- ・設置件数:1,644件(前年度から4件増)
- ・回収金額10,334,528円(前年度実績8,758,351円)

#### c. 街頭募金

- ・実施回数:106回(前年度実績108回)
- ・募金金額合計:10,334,528円(前年度実績12,639,013円)

#### d. 募金型自動販売機

- ・設置台数:91台(前年度より8台設置、3台撤去)

### (2)啓発担当職員の採用

正規職員1名を採用した。

### (3)収益事業の検討

収益事業に関する検討は進めていない。

### (4)労働環境の整備

委託社労士の協力のもとで、給料表の改定と人事考課表評価制度を導入した。

## 3. 施設整備ならびに備品購入等

- ・耐用年数を超えた本館2階の給湯器1台を交換した。